

東北大学日就寮

入寮募集パンフレット

制作：日就寮委員会



新入寮生募集中!!

寮費：1.2万円前後/月

※水光熱費・インターネット代込み

- ・ UHやほかの学寮とも併願可能！
- ・ 申し込み締め切り/経済要件なし
- ・ 見学時の送迎可能
- ・ 原則1人部屋で住めます



広い共用部



TOHOKU
UNIVERSITY

ごあいさつ

このパンフレットを手にとっただけ、ありがとうございます。日就寮は、現在では非常に珍しくなってしまった、運営のほとんどを学生自身が担う学生自治寮です。お金がなくても大学に通いたい、研究になるべく多くの時間を注ぎ込みたい、なにかを一緒に成し遂げる仲間が欲しい。日就寮はすべての学生の大学での挑戦を後押しする、自由度の高い学生自治空間でありたいと考えています。

日就寮は2020年ごろまで大幅に寮生数が減少していましたが、この2年ほどで続々と新しい寮生が増え、活気を取り戻しつつあります。寮を新しい空間へと作り変えているなかで、皆さんも私たちと一緒にひと味違った学生生活を作ってみませんか？

寮費は月々1.2万円前後、365日入寮可能、上下関係なし。皆さんの入寮をお待ちしています。

2023年度入寮募集パンフレット作成委員会

目次

これが日就寮だ！p3

設備紹介.....p4

日就寮概要.....p6

・コラム：アルハラの禁止
と敬語非推奨について

日就寮の良さ.....p7

～生活費編～
～共同生活編～

立地と交通手段について.....p9

日就寮の行事.....p10

先輩寮生に生活インタビュー!!...p11

寮生の家族からのメッセージ...p12

大学院生こそ、日就寮に入れえ！...p13

卒寮生からのメッセージ.....p14

新入寮生座談会.....p16

誰もが住める寮にするための宣言p23

寮生投稿.....p25

・日就寮にもゲイは住んでいる！
・旅をしよう～学びはキャンパス
だけじゃない～

寮外生寄稿.....p30

・日就寮の思い出
・留学生と日就寮
・少し変わったご近所さんとして
・第3のマイホーム

日就寮の自治について.....p33

女子学生の方, 外国籍/留
学生の方, そして日本人男.....p34
子学生の方へ

自治寮が学生にp37
もたらす自由

Q&A.....p38

入寮と手続きについて.....p40

これが日就寮だ！

旧食堂

行事などで大量に料理を作るときに活躍するのがかつての食堂。大火力のコンロなどがあります。

屋上
布団などを干すときや
月を見るときはここ

麻雀部屋
全自動雀卓が2台も！

ジム
ジムが遠いという言い訳はできないぞ。
キングオブベンチ、アブローラー、ダンベル、懸垂器具、サンドバッグもろもろ完備

図書室
レアな漫画一式から過去の寮生の参考書まで。その数は出版社ごとに部屋が埋まってしまうほど

資料室
日就寮の歴史を裏付ける資料がざっと60年分

ゲーム部屋
ファミコンからSPS4までなんでもござれ。レトロゲー好きにはたまらない空間

委員会室
サブスク完備のテレビとこたつのある部屋。冬はここで集まって鍋パーティだ！

浴場
足の伸ばせる風呂

玄関

サロン
夏に一番涼しい空間はここ。レコードで音楽を聴いたり、ポーカーで遊んだり、卓球もできちゃうなんでも空間

共有棟

居住棟

設備紹介

①補食場

各階に一つずつある調理ができる場所のこと。共用の調理器具と調味料、コンロ（二口）、シンク、給湯器があります。広いシンクは自炊のモチベーションに直結します。共同で使用するので、汚さないようにしましょう！

②旧食堂

コムパなど大量に料理を作る際に活躍するのが、かつての食堂の厨房です。食堂運営は2009年に廃止されましたが、設備はそのまま残っています。超高火力コンロで理想のチャーハンを追求しよう！共用の調味料も豊富です。

③集会室

寮生総会や定例の会議をする場所です。エアコンがあって普段は勉強部屋として活用されています。最近テレビやウォーターサーバーが追加されて、居心地のいい空間になりつつあります。高性能スキャナがあり、本をスキャンしたりする人もいます。

④駐輪場・駐車場

どちらも十分な広さがあり、寮生は自由に使えます。駐輪場は屋根付きです。シェアカーもあります。

⑤浴場

隣の寮と共同で使っている浴場があります。浴槽は広く、大人が数人足を広げて入ることができるため、一人暮らしでは絶対に使うことのできない空間の一つです。19時から25時の間ボイラーが稼働しており、掃除は持ち回りです。



⑥洗濯室

洗濯室には洗濯機が5台あります。一人暮らしでは音などに気を使わなければいけません。居住エリアから離れているので他人を気にせず24時間使えます。乾燥機の導入を検討中です。

⑦家電

共有の家電には電子レンジ、トースター、冷蔵庫、洗濯機、掃除機、印刷機などがあります。1人暮らしを始めるときは思った以上に初期費用がかかります。日就寮に住めば家電などの初期費用をほとんどゼロに近い額で済ませられます。

⑧インターネット

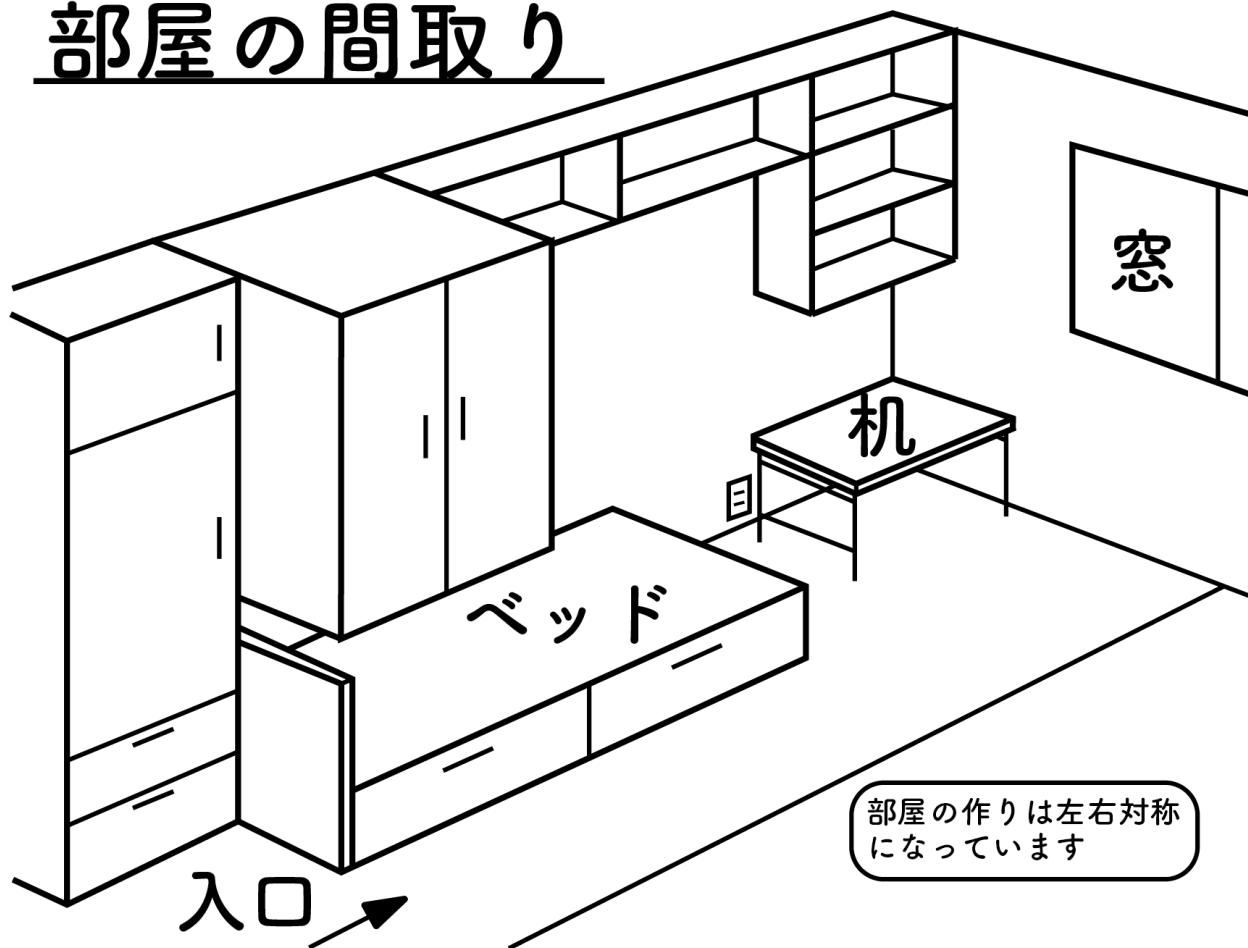
寮内ではどこでもWi-Fiにアクセスできます。寮でインターネットを契約しているため、ひとりあたりの負担額は月500円未満です。

⑨寮内物販

米や卵、カップ麺、野菜、飲料、アイス等があります。有志が大量購入して寮内向けに格安で販売しています。ある程度ツケで買うことができるので、お金が無くなっても飢え死することはありません。



部屋の間取り



居室の広さは7.5畳で基本的に畳ベッド2台、机と椅子2セットと収納がついています(部屋によって微妙に違いがあります)。日就寮の居室は2人部屋として設計されていますが、現在は部屋数に余裕があることやオンライン授業があるために2人部屋の生活が困難であることを考慮して、基本的にすべての部屋を1人部屋として使っています。したがって他の寮の居室よりも部屋の大きさや収納に余裕があります。各部屋にはそれまでの寮生が残っていたものがあるため微妙に設備が違うことがあります。入寮前に来寮して部屋決めすることもできますのでご検討ください。

また、寮の部屋のレイアウトなどはかなり自由度が高いです。部屋づくりはぜひ寮生に相談してください。

日就寮概要

日就寮とは

日就寮は東北大学の学生自治寮です。「自治」という言葉はあまり聞きなじみがないと思いますが、私たちは「自分のことは自分たちで話し合っで決めること」と定義します。したがって、日就寮では寮の管理・運営は寮生が行い、寮で起こった問題も寮生による会議で決定しています。

自分たちによる運営には大変な面もありますが、それによって自由な生活が守られています。

寮費について

寮費は1万2000円前後です。おおむね夏の方が安く、冬場は高くなります。

大学に納める寄宿料(700円)と水光熱通信料費と総務費(寮で共同購入している掃除用具や調味料の購入費)に分かれています。

委員会

寮の運営を中心的に担うのが委員会です。寮内の問題にすぐに取り組めるのも委員会という組織があるからです。委員会はおおむね7人程度で構成されています。4月と10月に交代し、役職の担当は持ち回りとなっています。役職としては委員長、おもに行事を担当する副委員長、会計、買い出し等を行う総務、寮内設備の保守を担当する設備、SNSやHPを運営する広報があります。

寮の決まり

寮生には守るべき寮の決まりがありますが、以下の3つは特に重要です。

- ・火気厳禁(日就寮は長い歴史のなかで2回焼失しています)
- ・アルハラの禁止
- ・年4回ある寮生総会への出席(寮生総会は自治の根幹です)

アルハラの禁止と敬語非推奨について

入寮を検討している方から頻繁に「寮に入るとお酒を飲まされるのではないか」「上下関係が厳しいのではないか」という不安が寄せられます。サークルや寮など、時に飲食を共にするような学生の集団では飲酒の強要や厳しい上下関係はしばしば存在します。しかし、日就寮は「学生寮には経済的理由からやむをえず住まなければならない学生がおり、そのような学生が居住の継続を断念するような文化はあってはならない」という考えのもと、あらゆるハラスメントや権力関係に基づく強制は批判されるべきだと考えています。特に飲酒強要や上下関係に関して不安が寄せられるため、「アルハラの禁止」と「上下関係なし」という言葉を強く打ち出しています。また、上下関係をなくし、寮内の決定に寮生が平等に関われるようにする取り組みとして、寮内には「敬語非推奨」という文化があります。

日就寮の良さ～生活費編～

日就寮の寮費はどれだけ安いのか

何度も繰り返しているように、日就寮の寮費は1万2000円と非常に安い。とはいっても、これを受け取る学生、特にまだ高校生の人などは日就寮がどれだけ安いのかピンときていないだろう。ここで理学部が出している資料によると（諸事情により画像は割愛）、ひとり暮らしの場合1か月に10万円も支出があるというのだ。日就寮に入寮を検討している人のなかには、親の仕送りが期待できない、あるいは親は学費までしか出してくれないという人も多いだろう。一人暮らしで節約して月に7万円で生活するとして、それをアルバイトで賄おう

一人あたりの寮費内訳（2023年4月期）		
内訳	寄宿料	¥700
	電気料	¥2,277
	水道料	¥4,571
	ガス料	¥334
	重油料	¥2,088
	ネット料	¥325
	新聞費	¥200
	総務費	¥1,409
	積立金	¥500
	合計=請求額	¥12,404

うとするとどれくらいの労働時間が必要になるだろうか。時給1000円というけっこういい方のバイトに就けたとして（仙台市のたいていのバイトは900円台である）毎週約18時間働く必要がある。1回6時間のバイトなら週3日、1回4時間のバイトで週4～5日シフトに入らなければならない。さらにサークルに週2回ほど顔を出し、大学の課題をこなして…と考えると、自由に使える時間は驚くほど少ない。バイトに期待を膨らませる受験生も多いと思うが、決してバイト戦士になりたい訳ではないはず。

それが、日就寮に入れば、住むだけで月6万円=60時間が浮くのだ。自由に使える時間をそのまま勉強に充ててもいいし、サークルや部活(学友会)に打ち込んでも、趣味を極めても、留学の準備をしても、もちろん全てのストレスから解放されてゴロゴロしても良い。日就寮は皆さんが何かに挑戦できるための環境であることは間違いないし、むしろ積極的にこの環境を利用してほしい（他の寮生もきっと応援してくれるはず）。

なんでこんなに寮費が安い!?

さて、寮費の安さをアピールしていると「なんでこんなに安いのか?」「安すぎる、裏にカラクリがあるんじゃないか」とよく聞かれる。もちろん、これだけ安いものには理由がある。

ひとつには日就寮は古いため、寄宿料(家賃)が700円に設定されていることである。加えて、水道代や電気代を大学当局に部分的に負担して頂いていること、共同生活によって一人当たりの水道や電気の使用量が抑えられているなどの理由によって1万2000円という寮費が維持されているのである。光熱費がここ数年急騰している中で、光熱費の割り勘は非常に大きい。なお、この1万2000円という寮費はあくまで年平均であり、冬には1万5000円程度、夏は8000円程度にまで変動する。また、寮生数が増えればそれだけ寮費が安くなるので、来年度の 신입寮生が多くなった場合、平均寮費が1万円を切る可能性も… ねえ、住んでみない?

日就寮の良さ～共同生活編～

共有物品で生活費がさらに安くなる!?

前のページで寮費の安さを説明したが、額面の寮費以上に日就寮での生活は安く済む。まず、基本的に新生活に際して家具家電を買いそろえる必要がない。寮では炊飯器から食器、調理器具、調味料、冷蔵庫、洗濯機まで共同で使うことができる。もちろん、他人と共有したくないものがあればそれは自分のものを買えばいいが、コストを下げようと思えばどこまでも下げることができる。

さらに、共同生活では同じような趣味の人がいれば欲しいものを共同購入することもできる。筋トレグッズ、ゲーム、本、音響機材、家具などを一緒に買っているひとはよくいる。また、突発的に食事などを大鍋で作ってみんなで食べる日がある。大鍋料理の相場はひとり 300 円で、学食が 500 円以上であることを考えると破格の値段である。(しかもおいしい!)

寮生同士の繋がり、そして同世代だけではない出会い

大学時代の友人関係は一番長続きしやすいと言われているが、その中でも寮で生まれた繋がりにはすこし特別なものがある。「同じ釜の飯を食う」という言葉からイメージされるほどウェットな関係ではないにせよ、長い時間を共にするわけだから、その結びつきは必然的に強くなる。もはや第二の家族である。自治寮の運営で色々と議論を交わすこともあるので、相手がどのようなことを考えているのか知る機会も多い。

共通項のない友人ができるということも大きいだろう。サークルや研究室の友人というのは、何かしら似たような趣味嗜好や問題関心がある。しかし、寮の仲間というのは「同じ寮に住んでいるだけ」の関係だ。「この人とは寮がなければ接点など生まれず、友人にはなれなかつただろうな」と思う人は一人や二人ではない。要は学生寮に住むと多様なタイプの友人ができるのだ。

また、日就寮は卒寮生との結びつきも強い。恒例行事の 4 大コムパには卒寮生も集まる。話を聞くと、単純な思い出の場所というものに留まらない、自分の人生に深い影響を与えた場所として強い愛着を持っているように感じることが多い。それぞれの時代で自治寮としての日就寮を守ってきた先達たちは、厳しい状況でもよく続けてくれていると言って今の寮生を温かく応援してくれる。ここが普通の寮だったら、こうはならないだろう。

そして、日就寮で生まれる出会いはこれだけではない。毎年 2 回開催される全国学寮交流会では日本各地の自治寮生との関わりができる。日就寮で開催することもあるし、他の寮に行くこともある。そしてそこで出会う人たちとは、すぐに話が通じて喋れるようになるのだ。熊野寮祭など各地の寮祭に遊びに行くのもいい。旅行の際に立ち寄らせてもらうのもいい。同じように日就寮に全国の学寮生が立ち寄ることもある。また、日就寮独特の雰囲気引き寄せられてか、どこの寮生でもないような人もしばしば訪れたりする(基本的に歓迎)。

「人脈」や「社会関係資本」なんて言い方もできるかもしれないが、とにかく住んでいるだけで一生ものになるような出会いがどんどん生まれてくるのが日就寮の良いところ。

立地と交通手段について



日就寮の立地について

日就寮は八木山エリアに位置しており、仙台市街地とは川を隔てた山の上にあります。山の上にあるので大学や市街地との行き来はすこし大変ですが、バスも多く、あまり不便を感じることはありません。徒歩5分圏内にコンビニが3店（ファミリーマート、セブンイレブン、ミニストップ）、コインランドリー、郵便局、ラーメン屋などがあります。スーパーまでは距離がありますが、寮内物販やネットスーパーなどを併用すればそこまで不都合はないでしょう。さらに原付や車を使用すれば、かなり便利な生活を送ることができるはずです。

各キャンパスまでの所要時間

青葉山(理・農・工)：自転車で25分、バス+地下鉄で35分
 川内(文系・1,2年次教養)：自転車で20分、バス+地下鉄で35分
 星稜(医・歯)：自転車で20分、バスで35分

最寄りのバス停までは徒歩5分

バスは八木山動物公園駅、仙台駅方面へそれぞれ約15分おきに出ています。

3寮共同の風呂のシャワーは、カランの方にひねるとシャワーが出て、シャワーの方にひねるとカランがでる。

入寮した時には多少驚くが、1週間ぐらいで慣れ、いずれ驚いたことも忘れる。

日就寮の行事

日就寮にはさまざまな行事があり、寮生活に彩を添えてくれる。他の寮と違うのは卒寮生が参加するような行事もあること。たんに寮生間の親睦を深めるだけでなく、昔の寮の話や様々な分野で活躍する寮生の話は刺激的で、将来の進路の参考にもなる。

寮生総会以外の寮の行事への参加は強制ではないけど、楽しいのでぜひ参加してください！

年間行事

4月上旬	新歓オリエンテーション
4月中旬	新歓コムパ
4月末	大掃除
5月上旬	クラブ日就
6月中旬	逍遙（実施未定）
7月中旬	ジェット流しそうめん
8月上旬	ビールコムパ
11月中旬	トリンケンコムパ・クラブ日就
新年	餅つき
2月末	前期試験入寮募集パンフ配布
3月中旬	追い出しコムパ



○4大コムパ

日就寮の行事の中で特に大切なのが4大コムパ。4大コムパとは新歓コムパ、ビールコムパ、トリンケンコムパ、追い出しコムパのこと。このコムパには卒寮生も全国から駆け付けてくれる。

・逍遙

深夜に海岸に集合し、キャンプファイアーを囲んだあとに思い思い語り合いながら寮まで十数キロを歩く。おそらく戦前からある行事。震災後は開催できていなかったのだが、今年から復活させた。

・ジェット流しそうめん

寮の4階から雨樋を使ってそうめんを流す。竹と違って曲がりやすい雨樋の制御にはアクロバティックな技術が要求される。時に玉こんにゃくなどが爆速で転がる様はもはや流しそうめんではない。

・餅つき

新年にもち米を蒸すところから始めて、大きな杵と臼で餅をつく。今時なかなか餅をつく機会ってないよね。実は全自動餅つき機もあるのだが、機械化をみとめない強硬派が杵と臼に固執している。

・副委員長コムパ

行事担当の副委員長が自分の裁量で企画して行う行事。副委員長のセンスが光る場。たとえば…

ソムリエコムパ：高いワインと安いワイン、そしてウェルチをどれがどれなのか隠して飲み比べ、高級な順に並び変える。正解者には賞品が。自分の舌の不正確さに悲しくなってしまうイベント。

クリスマス粉碎コムパ：反クリスマス派が開催するイベント。ケバブや羊肉の炊き込みご飯などイスラム圏の料理を並べ、日ごろ西洋中心的な考えや消費社会的価値観に染まった己の愚かさを確認する。

先輩寮生に生活インタビュー!!

文学部 S・Rさん

Q1. どうして日就寮を？

A. 正直、東北大に合格すると思っていなかったため部屋探しを怠っていた。日就寮しか受け付けしていなかったが、自分のような怠惰な人間でもすぐ入寮できるのは強み。

Q2. 寮のよいところは？

A. 周りの寮生が優しくかったから、学校生活のこととかも含めてわからないことをすぐ教えてくれて助かった。誰かしらが気まぐれで料理作ったりするのをみんなでつつくこととか、一人暮らしだとあまりないことを経験できて

Q3. 逆に寮のマイナスな点は？

A. 風呂が自由な時間に入れないところ
 なんとかガスにできませんかね…笑

Q4. 新入寮生に一言

A. 一人暮らしにかかる費用ってバカにならないですよ。頭で計算してみても、12000円という寮費がいかにか破格かわかると思います。お金を節約することは時間を捻出することになるのでバイトに当てた時間をサークルや趣味、研究に没頭できます。その自由な時間で一緒にゲームとか麻雀とかやれたら楽しいなーと思うので入寮お待ちしております！

理学部 K・Rさん

Q1. どうして日就寮を？

A. 2次試験の日に受け取ったパンフレットを読んで入寮しようと思いました。色々な人に会って色々な話をして学生生活を過ごしてみたかったので、すごく魅力的に映りました。

Q2. 日就寮の良いところは？

A. かなりの頻度でだれかが夕食を作ってくれていることです。自炊に飽きることもないし、人と話せて楽しいです。

Q3. 逆に寮のマイナスな点は？

A. さまざまなひとがいるので、必ずしもきれいとはいえません。そこはバランスですね。

Q4. 新入寮生に一言

共同生活というより、シェアハウスって感じですよ！1人になりたければなることもできます！住む人次第で無限大の可能性を持った場所なのでぜひ！

家族からのメッセージ

私の息子は日就寮で生活しています。彼が日就寮と出会って生活を始めるまでの顛末を親の日線で書きます。

息子が志望校を東北大学に絞り込んだのは1月の大学入試センター試験を終えた後でした。私たち家族が住んでいる山形県から仙台まではバスで2時間、列車とバスを乗り継いで2時間半、通うには少し遠い道のりです。

仙台に住むにはどのような選択肢があるのか調べてみました。

学生マンション、高校のOB関係者が運営する学生寮、一般の賃貸住宅などの家賃を調べてみました。

学生向けの集合住宅だと月々の支出の大体の相場は、家賃で7万円、食事付きだと9万円程度であることがわかりました。

これを踏まえて相当な支出を覚悟しました。

東北大学の前期日程第二次試験を終えて帰ってきた息子が、カラフルな学生寮のパンフレットを持って帰ってきました。

その学生寮にとっても興味をもったようで、ここに入りたいと言い出しました。それが日就寮でした。私も妻もそのパンフレットを読みました。寮の運営が寮生によって行われていること、楽しそうなイベントや生活の様子が描かれていました。家賃が破格の安さであることは親としてはとても魅力的でした。

パンフレットに「入寮前に見に来ることをお勧めします」という旨が書かれていたので、息子と相談し合格発表を待たずに一度寮を見に行こうということになりました。

息子がe-mailで寮の事務局に事前に連絡をとり、

3月初旬のある週末に本人と高校生の弟も連れて家族4人で自動車で日就寮を訪ねました。寮に着くと、まず、駐車スペースがあり安心しました。入寮2年目という寮生のKさんが出迎えてくれて、寮の中を案内してくれました。寮の第一印象は、失礼かもしれませんがボロいなという印象でした。旧食堂ホール、洗濯機部屋、共同浴場、トイレ、屋上、集会室、炊事場、そして、個室を見せてもらいました。

個室や集会室の壁の落書きが気になりましたので、そのことを尋ねてみると過去の文化遺産を尊重しているとのことでした。

寮の個室は程よい広さです。

もともと二人部屋だったところを一人で使わせてもらえるとのことなのでかなり良いと思いました。本などが大量に置かれている部屋もありましたが、生活に使われていない部屋であり長期計画で少しずつ整理しているとのことでした。

案内してくれた寮生のKさんが使っている部屋は小綺麗にされていて快適そうでした。息子はすっかり気に入ったようで、合格したら絶対入寮すると決めたようでした。この時点で親としても承諾しました。

息子は合格発表を聞いてから入寮希望を日就寮事務局へ伝えました。息子と私は改めて3月21日に部屋決めのために日就寮を訪れました。部屋は多くの住人がいる3階とまだ住人が少ない4階で迷いましたが、4階に決めました。

部屋を決めたら不用品の運び出しなどを寮生が自発的に手伝ってくれました。

部屋が決まってから部屋の掃除を行うしくみになっていたので、どう清掃するか計画を立ててから帰りました。

引っ越しする前に掃除するため、3月25日に息子

と私は日就寮を訪れました。机とベッドを部屋の外に運び出し、部屋を空っぽにして雑巾掛けしたらすっきりしました。

カーテンレールが壊れていたので新しいものと交換しました。

事前に布団、カーテン、床材（ジョイントマット）を購入しておいて設置したら見違えるほどきれいになりました。

壁の落書きはそのままにしておきたいと息子が言うのでそのままにしました。

こうして準備が整ったところで、4月2日から寮生活が始まりました。寮での生活を始めるときに一番心配なのは食事ということになりますが、新入寮生のために既存寮生が最初の1週間料理をふるまってくれるというイベントを行ってくれました。とてもありがたいことです。

このおかげで心配事なしに新生活を始めることができたと思います。同じ時期に入寮してきた他の学科の新生とすぐに知り合いになれたのもよいことだと思います。

寮では自炊することが通常で、ときどき寮生同士で夕食を共にすることがあるようです。息子は高校生のときから週に一回程度は家族のために料理をつくる習慣があったので、寮生活で自炊することにまったく抵抗がありませんでした。

実際には片手で数えられる種類の料理（お好み焼き、焼きそば、炒飯、天津飯）ができるだけでしたが、それだけで自信もっていました。自炊に必要な食器や調理器具や調味料は寮の備品を使わせてもらえます。

その後、息子は寮生の委員会にも参加しています。寮のイベントも参加したり企画したりして楽しんでいるようです。

まるで部活動みたいです。

寮生どうし助け合って生活していける環境は、さまざまな刺激をうけつつ悩みを解決していくために良い環境だと思います。

寮を自治運営することを通じて寮生どうしが問題解決のために議論する場があることは組織運営の経験としても良いことだと思います。大学側にも自治寮の価値を知っていただき、今後も存続させていざなうことを願っています。

一方、親としては寮生に対して、寮を少しずつでもよいので継続して清掃して清潔に保ってほしいと思っています。

整理・整頓・清潔・清掃・しつけ（5S）が行き届いた環境は組織の健全性を示し、外からの評価も良いものになると思います。

地域住民からも好感をもってもらえるようになればさらに良いですね。（山形県・1年生父）

大学院生こそ、日就寮に入れえ！

このパンフレットは主に学部新生向けに作成されたものですが、この記事では東北大学の大学院に進学しようとしている方や「将来的に大学院へ行きたい！」と考えている方に向けたものです。

<大学院生は「マジで研究が大変だ！」>

大学院生になると必然的に研究により専念する必要があります。

アルバイトも難しいですし、研究室以外の交友関係も希薄になりがちです。

すなわち

①金銭的に余裕がなくなる

②精神的に余裕がなくなる

可能性が非常に高まるということです。

日就寮に入居すれば①はばっちりクリアできます。②に関しても日常会話、ウエイトトレーニング、時節振る舞われる料理、大きな湯船など多くのソリューションが用意されています。

研究第一という意気込みはわかります。そのためにはまずは環境を整えることも大切です。そうすることで後顧の憂いを断ち、結果が出させるはずです。

ここで、「院生にもなって自治寮か」と不安になられる方もいるかと思いますが心配いりません。寮の仕事などは融通が効くようになっています。実際、日就寮出身のアカデミシャンも多くいます。近年では他大学から来た学生や修士課程から寮に入る学生も多くおり、かくいう私もその1人で地元の国立大学から東北大学に院進しました。

多様なバックグラウンドを持つ学生を日就寮は歓迎します。

卒寮生からのメッセージ

私は卒寮してから25年以上経つ今も、18歳から6年間の日就寮での生活から自らの知的基盤を得たと感じています。毎晩のように先輩後輩と酒を飲んでだべり、暇に任せて乱読した日々は忘れがたく、今も私の精神的バックボーンとなっています。現代日本のエリート層の劣化と退廃はもはや止めようもありませんが、もし没落からのリカバリーがあるとすれば、僅かに残された自治空間で育った人材が大きな役割をなすのではないかと想像しています。(1991年入寮・仙台市)

日就寮は学びの場所としてとてもいい環境です。ここでいう学びとは自分でやりたいことを決め、行動することで得られる経験のことです。自分で「これをやりたい!」と思ったなら、その思いを伝えれば寮生は必ず理解してくれますし、積極的に力を貸してくれます。私も寮内で肝試しを企画したり、寮内でおでんを売ってみたいりました。

皆さんもぜひ日就寮で様々なことにチャレンジし、ここでしかできない学びをしてください。

(2013年入寮・東京都)

共同生活、まあ面倒くさいこと多いです。東北大進学者という似た集団でも、それまで別々の環境で育った者同士、モノや場所の使い方など日常生活のクセや言動、気に障る部分があって当たり前。自分も気づかぬうちに誰かに迷惑かけてる。でも、萎縮したり怖がったりしないで! 自分と他人は別。理解や歩み寄りには、言葉で伝えないと始まらない。小さな割に大変だけど、「世界」を変える一歩を踏み出せる場なんじゃないかな。(2013年入寮・東京都)

ようこそ日就寮へ

1987年入寮時に言われた言葉である。受験戦争に勝ち抜き「おめでとう」と言われ慣れてたその頃、大いに違和感を覚えたのを記憶している。「新歓」という言葉があり、これは新入生歓迎のことなのだが、新たに大学の、学生の、サークルの、寮生の一員になった新入生を歓迎する大学独特の言い回しだ。歓迎、すなわち「ようこそ」という訳だ。

そうやって迎え入れられた日就寮で学び考え大学時代を過ごした。就職後も日就寮の経験が生きる土台となり支えとなった。

東京への単身赴任を機に日就寮を二十数年ぶりに訪ねた。変わらぬ日就寮があった。新入寮生を迎えるための大掃除にも誘ってもらった。様々な年代の元寮生が応援に来てた。みんなテキパキ。僕は腰が痛い。なんで？掃除後、在寮生も一緒に飲んで語り合った。当時と同じ雰囲気。持論を展開したり、疑問をぶついたり。そうそう、そうやって僕も鍛えられた。

昨年の夏、卒寮したての元寮生がビールコンパに参加するためテスラで東京から行くという情報を得た。便乗させてもらった。初めての電気自動車体験！そうそう、寮はいろんな人集まるからいろんな体験ができる！

そのビールコンパでこの文を依頼された。

ビールコンパでまた語り合った。楽しい。えっ?!親が僕より年下??あれ?この文章の依頼ってそういう事?

保護者の皆さん!ご息がこのパンフを持って日就寮に入りたい!と言ったら、是非、同意してあげてください。家計も助かります。得難い経験をさせてあげられます。見違えるぐらい立派になります。

そして、未来の新入寮生諸君!君たちが思う以上に学費や仕送りは軽くないんだよ。アパート借りて1人暮らしでもいいよと言ってもらえるかも知れない。でも、負担はなるべく少ない方がいいに決まっている。奨学金?あれは借金で将来を縛るものだよ。毎月の返済が地味にキツイ。

寮は不安?

なら見に来るといいよ。寮生が普通に暮らしてるよ。

汚い?

いやいやいや、相当綺麗になったよ。僕が寮生だった頃は、もっと酷かった。それでも生活できるんだと、ある意味人間の逞しさを学んだ。

入寮すれば自分の寮なんだから好きに変えていけばいいんだよ。その結果が僕が寮生だった頃よりずいぶん綺麗になった日就寮だし、寮生の一員となる君が変えていく日就寮なんだ。

だから、ようこそ日就寮へ!

(1987年入寮・東京都)

新入寮生座談会

新入寮生座談会とは、入寮して1年目の寮生に、寮での生活がどのようなものかを語ってもらうコーナーです。

司会：簡単な自己紹介からお願いします

天津飯：理学部数学科1年です。数学が好きで大学に入りました。

Creth：理学部物理系一年のCrethです。いろんなこと（）をしています。

修羅場：工学部1年です。星座が乙女座なのでもしかしたら私は乙女かもしれないです。違うかもしれないけど。

高草木：工学部情物応物コース”3”年の高草木です。3年生ですが今年から入寮しました。

総長：文学部1年総長です。麻雀やってます！

司会：文学部4年です。司会を務めますのでよろしくをお願いします。

――

入寮したきっかけを聞いていきたいと思います。

天津飯：パンフを入試会場で受け取り、不動産のパンフレットもいろいろもらったんですけど、そのなかで「面白いこと書いてるのがあるな」と興味をもって入りました。

司会：なるほど。今年のパンフレットもちゃんと書かないと思うと気が引き締まりますね。

修羅場：私も入試会場でもらったから。

Creth：東北大のまとめWikiになんか面白そうなのがあると思って。

最初は京大を目指してたけど、東北大に興味を持った理由も半分位は日就寮の存在がある。

総長：私はあまり受かると思ってなくて「受かったラッキー☆」と思ってたら、もう寮の募集が締め切られていたからです。委員長（執筆当時）を始めとした日就寮では一番多い動機です。黄金ルートですね。

高草木：僕は元々ユニバーシティ・ハウスという、大学の別システムの寮的なところに住んでいましたが、2年しか住めないという制限があり路頭に迷っていたところを同じユニバにいた先輩の人の紹介で日就寮に入ってきました。

司会：先輩というか、私ですよ、それ。

高草木：そういえばユニバを飛び出して寮に行った先輩いたなー、と思い出したので笑

司会：だいたい毎年〇〇が多いですよ。Crethに聞くんだけど、それくらい日就寮が大きかったのはどういう理由？

Creth：存在自体が面白かった。中核派記述の声明文などの完成度が高く、いい文章書くな〜と。ここなら「インテリの面白いやつに会えそう」と思った。あと、危機に瀕していた印象があったので俺が救うか〜とか思っていた。今より調子に乗ってたので……居住空間として素晴らし過ぎたというのもある。

総長：僕は見学もせずに入ったけど、うちは住まいのセーフティーネット的な役割もあるよね。

高草木：他に住む場所がなかったとはいえ見学なしでここはいったの、すごい勇気あるね

司会：時間のある方は見学に来ることを強く推奨します……。

総長：寮関連で調べていた時の Google 検索のサジェストに出てきた「中核派ってなぁーに」とか書類送ってから思った

――

司会：そうやって入って来たみなさんですが、最初の印象は？

総長：見学していない私がいちばんギャップが大きかったです、とんでもねえ所に来たなど。ただ住人が優しく声をかけてくれたので雰囲気は良く安心できた。

Creth：覚悟していたとはいえ、もうちょっと小綺麗だと思ってた。委員会室入ったら、床は畳で、壁がぜんぶ落書きで埋め尽くされてて流石にビビったね。

あと、出身が九州の私にとっては寒い。

修羅場：春寒いのは激しく同意

高草木：新入生は実家出て最初に住むのがここってなる人が多いと思うから、すごいな～と思うよ

修羅場：そんな俺たちみたいに読者の皆さんも凄い経験をしてみないかい？笑

高草木：第一印象として、なにより落書きの衝撃が大きかった。汚さとか乱雑さに関しては「掃除

すりゃいいか」って納得したので僕にとっては問題なかった。

この落書きが許容される文化って、なんなんだ！ってな感じで、寮の雰囲気ワクワクしましたね。

司会：いまは基本的に勝手に書くことはないから、読んでも人には安心してほしいけどね。なにかの記念の時に壁に書き入れることはあるけど。

天津飯：落書き、面白いなあとと思うんですけど自分の部屋に書いてある「貧弱な真実よりも華麗な虚偽を愛する」という文章が好きだな。

高草木：当時住んでいた人の息遣いが壁から伝わってくるよね。ほんとに下らないのもあるけど。ひと昔前、だけど同世代の苦悩とか当時住んでいた人の雰囲気が伝わるから楽しい。

Creth：自分の部屋には「人間の価値は行動で決まる。しかし、その行動を裏付ける考えや思想がなくてはならない。」と書かれているのだけでも、その横に翌日の日付で「経験によって裏付けられなければ、思想は空論でしかない。」とあるのが好きだな。

修羅場：僕の部屋には「寮出るなよ！」っていう熱い落書きがあるので、落ち込んだ時に頑張れる。

総長：俺の部屋には「僕は孤独が嫌い」って書いてあって、その隣に「俺は好きだけどね」って書いてあった笑

Creth：食器が共同というのが、軽いカルチャーショックだった。みんな年季の入った食器を適当に取ってきて使っていて。寮とかで結果的にそうなるとは珍しくないだろうけど、最初からそ

うやってシステムとしてあるのは面白い。

高草木：食器を一から買い揃えると結構お金かか
ると思うから、そこは大きい。自分のを使いたい
人は自前で用意してるし、それが大変ならすで
にあるもので間に合う。なんて持続的可能”サステ
ナブル”なんだ...!

天津飯：食器だけでなく調味料も共同で使ってま
すね

司会：安く生活できるように運営していこうって
いう姿勢は強いよね。

――

共同生活の不安

Creth:僕は高専辞めて進学してて、そこで寮生活
を経験してたというのがあったけど、
いきなりここだったら不安だろうし、これを読ん
でいる人もそう思ってるんじゃないかな？ 普通
の人が暮らしてきた居住空間とはかなり異質のも
のだけど、みんなはどう感じたの？

総長：僕は人がいたら安心するかなあと考えてた
けど。最初の歓迎会で先輩とも打ち解けられた
し。

天津飯：僕も人がいるからってというのが大きい
ね。

総長：でも最初に Creth に会ったときは怖かった
なあ。九州出身だって聞いたからなんでわざわざ
東北大って聞いたら「俺大学を偏差値で見るやつ
カスだと思ってるから」っていわれた笑 でも一
緒に過ごしててちゃんと信念もって東北大来た芯
があるやつなんだってというのがわかってすごい
やつだと思った。

授業のグループワーク中に同じこと言われたら、
友達になってないと思う。

Creth：僕もこっち来て価値観変わったな。色ん
な人と腹割って話す機会が増えて前よりは人当た
りが良くなったと思う。

司会：やっぱり「もし寮で一緒に生活してなかつ
たらこいつとは絶対友達になってなかったな」っ
て人が多いよね。共通の関心も趣味もない友人が
できることのメリットはめっちゃ大きいと思う。

天津飯：共同生活している人間関係こそ「家族」
の本質だと思うんだよね。だから日就の人たちも
そういう意味での「家族」だと思ってる。

高草木：逆に自分が「俺たちは家族だぜ！」的な
ノリが強いとちょっと不安だなと思ってた。最初
コムパが多いと聞いて、気分の浮き沈みが激しい
僕は不安に感じたけど、皆気を遣ってくれたし、
ちゃんと生活の線引きがされていてその気遣い
はありがたいと思った。

司会：バイトが忙しい人とか、実験系の院生とか
もいるから、そこは配慮するようにしてる。最終
的には寮生総会さえきちんと出ればいいからね。
もちろん、ほかの人がその分裏で仕事を回して
るんだということは認識してほしいけど。

高草木：僕はUHに住んでいたの、共同生活す
ること自体への不安は少なかったけど、それでも
人の相性は心配でしたね。ただ、初日に引っ越し
の手伝いとかしてくれたり、雑談をしていく内に
不安は晴れました。みんな各々を尊重してくれる
感じがありますね。

天津飯：人とのつながりもあるけど、縛られては
いないっていうね。

総長：昔はコムパも強制だったらしいけど時代に合わせて変わっていきます。

高草木：コミュ障陰キャに優しい寮ってことだね。

――

司会：とはいえこの寮はイベントごとが多いし、そこについても話したいよね。

総長：まずは新歓から話していくのがいいんじゃないですかね。4月の頭に1週間、先輩が夕飯を作ってくれるっていう。そこでいろんな話をし、だんだん打ち解けていく期間。

天津飯：麻婆豆腐はマジで辛かったの、一種の洗礼行事だったね笑

総長：天津飯が飯作ってくれたり、Crethがボロネーゼを作ったり、みんなが飯を作るようになったよね。

Creth：皆最近作ってないよね。私も最近凝ってるせいで今作るとおかわりなしで1食400円くらいの高いものになっちゃうからねえ。

総長 これに慣れると学食が本当に高い。基本が一食200円だからね。CLUB日就でその基準で飯を提供したら「なんでこんなに安い!?」って言われて。

司会：じゃあCLUB日就の話はしますか。

――

CLUB日就とは～

天津飯：部屋から徒歩1分のところで、非日常が味わえるの、良いなって思う。その場で知り合う

人とかもいるからね。

もともとクラブとかあまり興味なかったけど、嗜む程度にはクラブ好きになれたなあ。ヨーロッパではクラブ文化が身近らしいけど、こんな感じなのかなあ。

司会：こういう場所はなかなか縁がない人が東北大生多いけど、実際来てみれば楽しい場所ですよな。

高草木：1人で初めて客として行くのはハードルが高いと思うけど、逆に運営としての初参加になると色々吹っ切れて楽しめたのがよかったな。DJも東北大の人でめちゃくちゃオリティが高く世界が広がった気がする。

天津飯：今年はJET流しそうめんを復活させたよ。寮の4階上の屋上から爆速でそうめんを降下させるイベント。そして月夜の散歩も復活させた！

――

月夜の散歩とは～

修羅場 中秋の名月の夜に、荒浜海岸へ集合し、海岸で焚き火して団欒する。でもここからが本番で、午前零時になったら海岸から十数キロかけて寮に歩いて帰る行事。

総長 長距離歩くのはまあきつかったね笑

Creth そんなにきつかったか？

司会 おまえ砂浜で寝て回復してたからだろ笑

天津飯：この時に限らず、寮入ってから焚火する機会が多いと思う。焚き火だけじゃなくて、七輪で魚焼いたりも結構やった。

総長：寮に入ってなんか企画してね。僕は麻雀大会をやりたいので、麻雀好きな新入寮生を積極的に募集しております。この寮には全自動雀卓あるんで。

Creth ポーカーをやろう！音楽を語ろう！色々な学問をやろう！！

総長：みんなで桃鉄したいな。

――

司会：寮にどういう人がいるか話したい。空間と設備だけあっても寮では無いから。

Creth：住んでからしばらく思っていたのだけど、文学部かどこかのそういう研究室みたいな所を除けば東北大で一番文化的な空間な気がする。寮生の文化的センスがやたら高い。

天津飯：Oさんとかすごいよね。自分で海外の映画監督に連絡して、映画の上映団体を作って上映して有名だしね。上映会の打ち上げとかで、映画監督が寮に来たりもするし。

司会：ちなみに1階の外壁のアートは、昔日就寮に来た芸術家グループが書いたものだったりするね。

Creth：色々な文野の話が飛び交うよね、映画とか、思想とか、ニッチなものの話とか。建築の話とか、古典の話とかが当たり前のように聞ける。僕はよく近代以降の音楽の話をするけど、思想だったり、科学だったり。どんな話でもできて毎日が楽しい。

司会：私もここだと思想の話がいつでもできてすごく居心地がいいです、。

総長：多趣味な人が多くて、しかもそれを極める人が多いよね。

天津飯：周りにそういう人が多いと刺激を貰えるよね。

高草木：ゲーム好きもいるよ！ゲーム作る人もいるよ！リーグ・オブ・レジェンドをやっている人は日就寮にカモン！

総長 現委員長も昆虫とか好きでいいよね。玄関に入ってすぐのところで水生昆虫飼ってる水槽とかあるし。

高草木：ただし蜘蛛、てめーはだめだ

総長 高草木さんの近くの蜘蛛は積極的に退治しましょう。退治を報告したら奢ってくれるらしいよ！

修羅場 これだけ個性が強いと、「いや僕に語れるものは何も無いし…」みたいにビビっちゃう読者が大勢だと思う。でも、「私も他の寮生に刺激を与えない」という気持ちは絶対要らなくて、「無味乾燥な大学生活は何か嫌だな、少しは誰かに振り回されてみたい」っていう気楽すぎる構えでいてくれればそれで充分だから。

――

司会：今年はまだ委員会メンバーになってる1年生が多いんだけど、そこについて聞きたい。寮を運営する、寮自治の中心であるわけだけど。

天津飯：色々な考えをぶつけてきましたね。直接民主主義的な運営をやっていて、寮生総会では全会一致の原則があるから、みんなが納得できるように議論の準備にかなりの時間をかけないといけないしね。掃除の話とか意見が割れたりしたよ

ね。「清潔」と「清潔感」の違いの話とか

高草木：自主性の名の元に掃除は自分たちで！ってことで掃除当番の復活や定例的な掃除を寮生総会で提案してみました。議論は長引いたけど最終的に掃除のシステムが作れてよかった。寮に対して何か不満があるなら、新入寮生であれ自分で議案を出して寮を改革できるっていうのが、自治寮のいいところですね。

司会：いろいろ心配かもしれないけど、全員に等しく決定権があるから、ちゃんと定例の会議とかを通して意見を表明していけば変えることができる。

天津飯：直接民主主義って社会の教科書に載ってたスイスのとある町みたいだよな。

修羅場：ダイレクトに体験できるとは思わなかった。

天津飯：委員会の業務っていうのは入寮募集、大学当局との交渉、会計、寮の設備の管理、イベントの開催、寮生総会の招集とか多岐にわたりますね。

修羅場：大学「当局」って言い方は最初は面くらいましたけど。

司会：まあ、なかなか使わないよね。寮を自治で運営しているのは、学生・教授・運営体がそれぞれ対等であるっていう戦後の思想の反映なわけだけど。だから、大学の運営組織は当局と呼び分け、「東北大学」は学生・教授も含めたものとして呼んでいる。

修羅場：寮生以外の人と話すとき、言いそうになるけど、言えない――

天津飯：大学の方針を決めてる上層部って感じのニュアンスかなあ

天津飯：寮生総会はすごい時間かかりますけど、無駄な時間はないのがすごいと思う。意味のある議論ができる。

総長 それだけみんな議論に積極的に参加してる証拠ですよー。

Creth 一応長めの休憩時間も含まれてるけどね。まあ、議論が深まりすぎると必要以上に抽象的な話になる時もあるけどね（僕が仕掛けていることも多いですが…）。

天津飯：休憩時間の時にカレーみんなで作るの良いやね

司会：材料の仕込みは済ませて時短したい…

司会：なんで寮生総会がなんであんなに時間かかるのかなあ。普通に外部の人から見たら意味不明なのでちょっと説明が必要かも。

高草木：みんなが当事者意識を持ってるからだと思う。あと、寮の理念っていうのがなかなか今の大学の方針とは違うから、難しい舵取りをやっていくためにも寮を運営するロジックをに立ち戻って議論する必要があるというのはあるかもしれない。

――

寮に入ろうか考えている新入寮生へのメッセージ

総長：そもそも知名度が低いので、見学だけでも来てほしい。

高草木案一：遺跡を見に行くような心づもりで見学してきてもいいかも！建物の構造がなかなか興味深いぞ！

高草木案二：今寮にいるのが20数人、現状人が増えれば増えるほど寮生活が快適かつ面白くなると思うので新入寮生を広く歓迎します！

修羅場：僕は高校生のときこんなボロい寮でのキャンパスライフなんて一切考えて無かった。でもどんな心配もなんとかなるものです。

Creth: セーフティネットとしての役割を強く持っている分安く住めて無益な費用やバイト時間を削減できますし、そもそも本当に面白い場所なので来たほうがいいです。これは自信を持って言えます。

天津飯：寮に住んでみるのも一つの経験かなって思いますね。せつかくの大学生活、気になったらのぞいてみてもいいんじゃないでしょうか。

———
生活の話

司会：住んでみてどういう風に生活送っているのか。

天津飯：4階コミュニティの話をしたい。4階は一応、綺麗好きな人が住む空間ということになっていて、今は住人が3人しかいないけど、僕はけっこう居心地がよくて好きです。お皿があったら洗ってあげるし、自分が疲れているとやってくれるひとがいるし、そのお礼に料理分けてくれたりする。贈与の関係だよ。小人数だからできることかもしれないけど。他の階はコミュニティ的なあるんですか？

Creth：2階は「ザ・日就寮」って感じがする。

集会室とサロンと委員会室と、人が集まるスペースが集中してるからね。よくみんなでご飯食べたりお酒飲んだりするし。

天津飯：まあ食べ残しとか多いけど。徐々に改善はしているかな。

司会：生活空間と共有空間の境界があいまいだよ。それがいいことでもあり、悪いことでもあるけど。だから、綺麗の基準がまるで違う人が同じ空間で暮らすことになる。

高草木：でも現状プライベートな自室が保証されているから自分なりに共通空間との距離を測れるのがいいな—

———
通学

天津飯・Creth・総長：バスと地下鉄で通ってる。

修羅場：そんなん言ってますが冬場以外は自転車通学は充分可能ですよ？

司会：例年は原付で通う人が多いから、今年はちょっと特殊かもね。

天津飯：とはいえフリーパス買えばどこでも行けるからかなりいいと思う。

総長：都合があれば免許持ちがバイトで疲れた時、送迎もしてくれる。

司会：私も免許取ったのでどんどん貢献させていたきたい。お酒飲んじゃう日が多いけど…

———
勉強環境

Creth&修羅場：図書館籠ってる。ここが最大勢力だと思うが。

天津飯:いちおう「勉強部屋」でやっている人もいるよね。夏はクーラーついているし。

天津飯：寮内でやっている。本もたくさんあるし、ホワイトボードあるのがいい。

司会:みんなで勉強会することもあるよね。

司会：あの本棚管理しているの私だけど、結構いい本が揃ってると思う。卒寮生の人が結構本送ってくれたりしているし。ホワイトボードはいつ見ても、なにかしら数式書いてあるよね。

こうして10月某日の夜は過ぎてゆくのでした...
(この座談会のメンバーの正体が知りたい方は是非見学を！)

誰もが住める寮にするための宣言

日就寮は今年度「誰もが住める寮にするための宣言」を採択しました。日就寮は敬語非推奨をはじめとした福利厚生施設であるための文化のあり方を追求してきました。寮生が大きく入れ替わりつつあるなかで、いままでの文化を再確認して継承していく機会が必要であると考え、このような宣言を採択することにしました。

日就寮は学生による自治で運営されています。寮に住んでいると、まるでここが私的空間であるかのように考えがちですが、ひとり暮らしとは異なり、みなで共有する公的な空間でもあります。寮生は寮を運営するために議論をする相手でもあり、しかし一方ではたまたま一緒に住むことになっただけの相手でもあります。そしてなにより、日就寮は高等教育における経済要件によるハードルを撤廃し、学問の自由を保障するための福利厚生施設でもあります。ですから、寮を必要とするすべての学生が住み続けられるような空間を目指す必要があります。そのためにはハラスメントなど、相手を不快にさせる行為を自分たちがしないように意識的になる必要があります。

日就寮はこれまでも「アルハラ禁止」「敬語非推奨」などのスローガンを掲げてきており、これは80年代以降の伝統です。現在の日就寮は寮生数も回復しつつあり、あらためて包括的な指針を示す必要があると判断し、このような宣言を作成することを提案しました。しかし、この1枚の紙ですべてのハラスメント行為に対処できるわけではありません。なにより必要なのは、この宣言をきっかけとしてそれぞれの寮生が自分の行為を見つめなおすこと、そして日就寮を誰かを排除することのない空間にしていくように務めることです。

加害者にならないための行動指針

【上下関係はいらない】

寮という空間を秩序づけるために上下関係はよく使われます。しかしそれは一部の人に過重な我慢を強いることになり、寮生同士が対等であるという前提なしにハラスメントはなくせませんし、寮

の意思決定のありかたには馴染みません。また、寮自治にはすべての寮生が臆することなく意見表明できることが不可欠です。

【当たり前を押し付けない】

「大学生なら恋人がいて当たり前」「異性に興味があって当たり前」「早くから就活するのは当たり前」こうした「当たり前」の押しつけは相手を縛ったり、普通に馴染めない人には居づらい場所をつくってしまいます。

【属性で判断しない】

たとえば「男子」しか住んでいない日就寮でも、ストレートもいればバイセクシャル、ゲイ、その他さまざまな人がいておかしくありません。また、まさに自分のセクシュアリティについて悩んでいる最中の人もいるでしょうし、年齢や国籍などが異なる相手もいるでしょう。相手の外見の属性から判断し決めつけるような行為は、精神的負担をもたらすことにつながります。

【不在の属性に対して】

日就寮はすべての学生に福利厚生を提供することを理念に掲げています。したがって、その時寮にいない属性に対しても、蔑視的・差別的言動をするべきではありません。また、いわゆる「男子校ノリ」に代表されるような、異性への欲望を媒介とした紐帯であるホモソーシャルな空間にならないように注意が必要です。そこに差別意識がなくても、一部の属性を締め出すような空間が容易に形成されてしまいます。

【非日常空間での振る舞い】

寮生同士の仲を深めるためのコムパや行事が日就寮にはたくさんあります。しかし、こうした非日常の空間では、高揚感から加害行動をしてしまいやすくなるものです。お酒が入っていればなおさらです。行事の際はいっそう注意するとともに、寮ではコールや一気、無理に飲ませるなどのアルハラに該当する行為は厳しく禁じます。そしてこれは日就寮の行事等に参加する寮外生に対しても同様です。

【迷惑な行為について】

他人の迷惑となる行動は慎まれるべきである一方、自分の感情や行動をコントロールすることが得意な人もいます。加害と迷惑は峻別し、少しは多めにみることで、そして本人との対話を重ね、信頼関係を構築していくことが求められます。

【不快な思いをしたら】

寮内で起こった問題については当事者間での対話による解決が原則となります。自分が何を不快に思ったか・何に傷ついたかをはっきり伝えることは重要です。これはもちろん、当事者だけで何とかしろということではなく、第三者に仲裁してもらうことも重要です。些細なことでもほかの人に相談できるような空間を目指していくべきです。

【加害行為を指摘されたら】

もしもあなたが加害を指摘されたとしても、あなたにはその自覚がないことが多いと思います。「そういうつもりではなかった」と言い訳をするのではなく、まず相手の言い分を受け止めて対話をするべきです。

寮生投稿

日就寮にもゲイは住んでる！

文責:天津飯

こんにちは。23 入寮の学部 1 年、天津飯です。実は僕はゲイなのですが、今回はそのことについて書いてみようと思います。ちなみにゲイとは男性を恋愛的に好きになる男性のことです。

このパンフを受け取る多くの人は 10 代後半から 20 代だと思いますが、特にそのような年代は自分のセクシャリティについて悩む人も一定数いることでしょう。それでも周囲には言えない。高校生の時の僕もそうでした。家族にも言えませんでした。

そうではない人も、近年話題になっている「LGBTQ」とか「性的マイノリティ」という言葉は知っていても、実際どのようなものなのかわからない人は多いのではないのでしょうか。でもこういうことについてもある程度知っておくことは誰にとっても必要なことだと思います。この文章を読んで、性的マイノリティは決して特別なものではない、普通のことであることを感じてほしいです。僕は、ゲイや LGBTQ についての一般論を話せるほどの年齢や立場ではないし、知らないことがまだまだたくさんあります。しかしせつかくの機会ですし、ここでは全体を通して、一般論よりかは一人称視点で書いてみようと思いました。

まずは、「LGBTQ」「性的マイノリティ」について少しおさらいしておきましょう。世の中では、生まれた時に割り振られた性と性自認が一致し、恋愛的に異性を好きになる人が大多数です。しかしそれは多数派であるだけで、必ずしも全員がそうであるわけではないことは時々忘れられがちです。代表的なのはレズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシャル(両性愛者)、トランスジェンダー(割り当てられた性と性自認が一致しない人)であり、それらの頭文字をとって「LGBT」といいます。でも、それが性的マイノリティのすべてではありません。性というものは流動的で、かつグラデーションがあるもので、時に曖昧なものなのです。例えば、男性でも女性でもない、恋愛には興味がない、男性を自認しているが女性らしく振る舞うなど、性にはいろいろなあり方があります。そこで、クエスチョニング(自分の性のあり方がわからない、定めない)、または多様な性のありかたすべてをひっくるめたクィアという言葉の頭文字である Q を組み合わせて、「LGBTQ」と言ったりします。

さて、僕の話をしてしまおう。僕は日就寮のことは入試会場でもらったパンフで知りました。学生寮の古き良き人間臭さも残しつつ、学生のことをなにより第一に考えた自治をしていることに強く共感したし、そこに携わって継承したいと思いました。さらに日就寮では寮生どうしさまざまなことを話し合える環境があり、時には性についての話題についても話したりします。性教育が不足している日本ですが、日就寮のこのような環境は素晴らしいものだと思います。

大人数にカミングアウトするようになったのも日就寮がはじめてでした。僕は高校生のころまでは誰にもカミングアウトできませんでした。入って1ヶ月くらいの頃、長い付き合いになるだろう寮の人たちにはカミングアウトしたい、「彼氏欲しい」なんてこぼしたいなんて思いながらカミングアウトしました。その後家族にもカミングアウトしました。みんな自分が想像していたよりも驚かず、その後も変わらず普通に接してくれています。本当に感謝しています。

入学した2023年の春以降、いわゆるゲイ活動もぼちぼちやってきました。そのころからお世話になっているのは、定禅寺通りにあるコミュニティセンターZELという、ゲイ・バイセクシャル男性向けの施設です。HIV/AIDSの情報発信が目的の施設ですが、仙台のゲイバーなどの情報が得られたり、ゲイの人と話したりもできます。信頼できる方が運営されているところなので、ゲイの人に会うのには敷居を感じるゲイにとっては良いところだと思います。

あとは東北大学には、「東北大学性を考えるサークルAROW」というサークルがあります。性的マイノリティに関わらず、女性の権利や、性教育についても取り組んでいる団体です。去年は「色々合コン」という企画のなかで、ゲイとバイセクシャル男性だけが参加できる「男子だけ合コン」というものに参加してきました♪

大学に入っていわゆる「ゲイデビュー（）」する前は、僕にとってYouTubeが、ゲイの世界ともいえるべき世界を知る入り口でした。新宿2丁目や、ドラッグクイーン、GOGOボーイなど、こんなにおもしろいものが世の中にはあるのか、と思いました。

そもそも、僕が自分がゲイであると気づき始めたのは、中学卒業のころ、ちょうどコロナ禍のときでした。男女よりも男同士のほうがドキドキする自分に気づきました。しかし自分がゲイであるということを受け入れられたのはすぐではありませんでした。クエスチョニング、パンセクシャル、バイセクシャルを経て、ゲイに辿り着きました。結局自分がゲイであると認めると、すごくしっくりきたし、すっきりしました。まあでも最近「ゲイ」にこだわりすぎなくてもいいかなとも思っていますが、男性が好きなおに変わりはありません。

さらにいまでも僕は、自分がゲイである理由がわかりません。いや、ほんと不思議。無責任なように聞こえるかもしれませんが、恋心もそうであるように、自分の性別(体も心も)って自分の意思とは無関係なんだと思います。だから、僕がゲイなのは神様の仕業だ、というのは一つの真理だと思っています。でも結局ゲイって楽しいので、僕は神様に感謝しています。

最後に、オールジェンダー化を目指す日就寮についてひとこと。まず「男子」しか住めないのは多様性の欠如であり、これは住人にとってはマイナスだと思うので、性別によらない学生の入寮ができればいいなと思います。そもそも「男子女子」という括り方こそナンセンス！……とは言っても、設備的な問題もあるのでそこを乗り越えなければならないですが。

あとは、寮内に「男子」しかいないからといって、寮内での「出会い」に僕は期待しません。相手がゲイでもゲイでなくても、無理にそのような関係を迫ることはセクハラになりますし、日就寮が誰でも住める場所ではなくなってしまうからです。さらに、恋人探しならゲイが集まっている場所でした方が効率がいいに決まっています。

まあとにかく、僕は自分がゲイであるということに気付いてよかったです！！

今は心細さを感じている人もいるかもしれませんが、きっと居場所があります。性的マイノリティのコミュニティセンターなどに、足を運んでみてください。そして少なくとも、僕は性的マイノリティの味方でありたいと思っています。

もしも僕と話してみたいと思った人がいれば、下のメアドにどうぞ！

ankake.tenshinhan@gmail.com

旅をしよう～学びはキャンパスだけじゃない～

文責：HIDA

小さい頃から旅に出たかった。父親が若いころにインドに行った話を聞いたからなのか、それとも実家の戸棚の中の安っぽいアルバムのなかにあった、草原に立つ両親を映した色あせた写真のせいだろうか。山に囲まれて育った私にとって草原とは異国を思わせるものだった。実家が動物を相手にする畜産業でなかなか遠出が出来ないからこそ、たまに行ける旅行は特にわくわくした。宮城の伊豆沼は冬になると数十万羽の雁で埋め尽くされる。その数十万羽が夜明けとともに空を埋めつくして飛ぶのを見るために、野鳥好きの父に連れられて鈍行列車に乗り、雪原の中を歩いたのが旅の原風景のひとつだ。あとは、実家の2階の日の当たらない廊下に置かれた本棚に積まれた旅行記。インドの深夜特急、ヨット地球一周、西アジア放浪、ベトナム戦争従軍記、シルクロードを歩く、さまよえる湖……。これらの本の、解像度が粗く安っぽい写真に心を躍らせたのが私の旅の原風景かもしれない。

大学生になって自立したらとにかく旅に出てやろう、小さいころからずっとそう思っていた。しかし、大学に入ってすぐにコロナ禍になり、旅なんてとてもじゃないが考えられるような情勢ではなくなってしまった。このまま大学生活が終わっていいのかという思いもあり、4年生になる前の今年、休学することを決めた。

ちなみに、休学をするのに日就寮以上にいい場所はないと断言できる。まず、そもそもほかの寄宿舍/学寮では休学者が住めない。休学者の大半は精神的な理由であり、アルバイトが難しかったりする学生や奨学金が停止する学生がいるのになんとも道理に合わない話だ。日就寮なら休学中も格安の寮費で住めるし、精神的に厳しくても常に相談相手がいる（これを書いているいまは、ちょうどメンタルを病んで大学に行けていない寮生に昼飯を食べさせてあげたところだ）。なにか大学時代に起業とか大きいことをやってやろうという人や、精神的な面で不安があるという人はぜひ日就寮に住むことを考えてみてほしい。

私が休学した理由は旅だけではなかったもので、休学中にまとまった時間がなかなかとれなかった。だから、海外に行くことはできなかったが、それでも北は北海道の利尻島から南は宮古島まで本当に日本じゅうを移動した。印象深かった場所はいくつもあるが、ここでは利尻島の話を書こうと思う。



山の端が徐々に明るくなっていく。山といっても平坦な稜線が続くありふれた山ではない、美しい三角形の1700メートルの独立峰がゆっくりとその姿を顕わにしていくのだ。北上山地の裾野で育った私にとって、山とは同じような高さの峰が延々と続いていくものだった。しかし、いま私の目の前にあるのは、屹立する巨大な三角形であった。

もともと、私にはその美しい山を眺める余裕はない。ロープにびっしりと生えた昆布をマキリという小刀で切り剥がしていかなければならない。山の端は徐々に明るくなりつつあるとはいえ、手元はほとんど真っ暗で、作業場の端にあるひとつの電灯だけが頼りだ。夏休みがはじまる時期だというのに、気温は15度ほどしかない。それでも、作業をすすめると背中に汗がじっとりとし込んでいく。

エンジンの音に振り向くと、昆布を山と積んだトラックだ。火山島の外縁部はなだらかで、たいていどこからでも海が一望できる。視線の先には極東ロシア沿海地方がある。その海からトラックが勢いよく坂を登ってくる。

7月、私は北海道の最北端、稚内の隣にある利尻島で昆布干しアルバイトをしていた。

日就寮は全国学寮交流会という全国の学生自治寮の集まりに深く関わっており、私はそこの運営委員のようなものを務めていたのだが、同じ運営の京大生が利尻島の昆布干しバイトをやっていた。寮の先輩から聞いて興味を持っていた私はすぐさまこの話に飛びついた。行くとしたら休学している今年しかない。

このようになかなか心待ちにしてはいたのだが、行く1ヶ月前にコロナに罹り、その後寮の年4回の総会のうちの1回があり、バタバタしているうちにあっという間に出発の日がやってきた。利尻島への航空券は取っていたが、島がどういう場所なのかよく調べる間もないうちに私は仙台港から苫小牧に向かうフェリーに乗り込んだ。苫小牧から札幌の丘珠空港へと行き、プロペラ機で利尻島へと向かう。

到着が近づいたアナウンスにつられて窓の外を見ると、私が想像していたのよりもはるかに大きな島がそこにはあった。地図で北海道と比べると小さく見えるが、実際には大きな島であった。眼下に目をやると、島から海上に100メートルはあろうかという大きな岩塊が突き出しており、そこをかすめるように飛行機は滑走路へと滑り込んだ。飛行機のタラップを降りると、目の前に巨大な山が堂々とそびえ立っていた。利尻富士の愛称がまさに示す通りの綺麗な姿、そして遠くからでもわかる小峰の鋭さ。最北の地であることを身体に理解させるびっくりするほど冷たい風がふきつける。

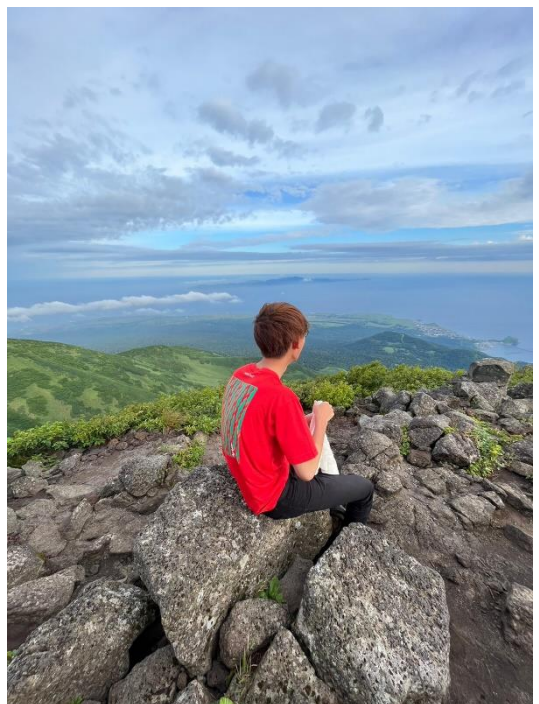
島での生活は奇妙なものであった。私たちは空き家になっていた一軒の家に7名ほどで暮らした。昆布漁は朝が早い。朝の3時には干場にいなければいけないので、大学生の集団生活なのに夜の9時には床にはいるのである（もともと徹夜して仕事に向かった人も何人かはいたが）。たいてい朝の6時には干し終わり、浜の番屋で朝ご飯をいただく。この朝ご飯が本当においしくて、肉体労働のあとということもあり、小食なはずの私でもご飯3杯は食べてしまうのであった。そこから家に戻り、交代でシャワーを浴びて、海水とワレカラで汚れたヤッケを洗濯する。しかし、本当に体力を持て余していた我々のうちの何人かはさらに標高1,700mの利尻富士に登ったりしていた。私はいつも疲れて小一時間は眠ってしまった。

昼間はめいめいが好きなように過ごす。島の飲食店でバイトする者もいれば、レポートにとりかかる学生もいた。私は本を何冊か読み切ることを目標にしていたのでずっと本を読んでいたように記憶している（ちなみにウォーラスティンの『史的システムとしての資本主義』なんかを読んでいた）。驚くべきことに、試験かレポートが100%の授業だけをとって島に来ている学生もいて、バイトをしながら単位を取り切っていた。私にはとても真似できないことだと思った。そこから午後3時ごろに昆布を回収する。この仕事は昆布が乾いて軽くなっているのが非常に楽だった。

しかし、この昆布の天日干しというのは島の天気と翻弄される。海のうえに山が突き出しているのだから、「完全に晴れの日」というのは滅多にない。いつも山のどこかには雲がかかっている、山全体が綺麗に見える日もあまりなかった。さらに、風向きが変われば雲のできる場所も変わるので、突然天気が変わることもよくあったし、大雨だと思ってもたった2キロ移動するだけで晴れになることだってあった。だから、翌日の天気はどうなるのかは予想がつかず、いつも朝（とはいっても2時台だが）に漁師さんから今日は仕事があるのかどうかをどきどきしながら連絡を待つのだ。島にいる間は、ずっと天気と風の話をしてきた。まるで異なる理の世界に身を置くという経験は、なにか自分の世界に対する認識を一段階深くすることになるのではないかとこの時思った。

島で暮らした一カ月は非常に濃密だったが、それが即座になにか自分の糧になったとは思えない。むしろ、島での生活を思い出せば、そういう考え方をすること自体が野暮だと言えるだろう。焚き火を囲んで夜遅くまで将来を語る、島に移住してきた人と話す、漁師さんの娘さんと遊ぶ、島の祭に行く、山に登る。たぶん私の将来の役には立たないだろう（せいぜい飲み会の席の話の種になるくらいだ）。大学というのは、即座に役に立たないことを学ぶところだ。そしてそれを大学のキャンパスのなかに限定するのはとても貧しい考え方だと思う。まるで普段の生活とは隔絶された場所で、その住人の一人として過ごす。そういう「学び」は大学時代にやっておきたいことのひとつに入れてもいいんじゃないだろうか。島を出る前に山に登った。中学生以来登山なんてしていなかったので、苦しいと思いながら高山植物のなかを歩き、岩にへばりつきながら頂上を目指した。普通の登山というのは周囲がぐるりと山に囲まれているものだけど、利尻山はずっと海が広がっていた。山の裾野と海岸線の境のわずかなところに小さな町がある。島の暮らしは不便だけど、しかし人間が長く住んでいるところは不便そうに見えるけど実際はなんとかなるようによくできているのだ。島の頂上からは樺太がわずかに見えた。

大阪の歴史と矛盾を感じた釜ヶ崎、誰にも拾われなくて野宿した東海道のヒッチハイク、宮古島のサトウキビ畑、ヒッチハイクで乗せてくれた方に連れて行ってもらった青森の牧場、まだ終わっていない住民間の対立を目にした水俣、Googleマップに騙されて延々と走った茨城の農道、北海道の原野で乗せてくれた陰謀論者のおばさん、根本的な文化の基層の違いを感じた沖縄、京都の祭に満ちる活気、夜遅くなるにつれて人が増えていく高円寺のロータリー、川に沿うように走る広島市の市電、列車を何時間も待ち続けた福井の冬のホーム。話したいことはまだまだあるが、ページに余裕がないので、ぜひ寮生となったあなたと夜遅くまで語り明かしたい。



寮外生寄稿

日就寮の思い出

小林成彬（元・一橋大学中和寮生/研究者）

日就寮を初めて訪れたのは2022年8月のことである。「全国学寮交流会」が開催されるとのことで、一橋大学中和寮の寮生から誘われたのであった。仙台か。さほど乗り気ではなかった。私はさほど「学寮」の魅力に目覚めていなかったのである。

しかし日就寮に着いてすぐこの寮のファンになってしまった。

寮生たちの出入りをずっと見守ってきたであろう樹木たちをくぐりぬけると、「自治と共同」の看板が出迎えてくれる。寮生に寮内を案内してもらった。集会室の壁にはたくさんの落書きがある。ここに暮らしてきた数十年にわたる寮生たちの長い時間が同一平面たる壁に並列されている。

交流会一日目が終わり、懇親会がはじまった。大鍋料理が出てくる。この寮では大鍋で料理をして寮生たちでシェアする文化があるようで、料理の味は洗練されていた。非常に美味しい。さらに安価。自治寮は胃袋から始まるのかもしれない。私の友人の中和寮生は「自治」や「寮」について小難しい顔をして話していた。私はそれを脇目に、一人でぼんやりと飯を食べていた。ひとり飯をしているのを見かねたのか、日就寮生たちが私に声をかけてくれる。そのうちの一人は、映画好きの寮生だった。私も映画は好きだったので話が弾む。ペドロ・コスタやストロブ＝ユイレ、クリス・マルケルなどについて話す。なかなかこんなマニアックな映画について語れる人はいない。映画をきっかけに親しくなり、居室にまで案内してくれた。日就寮の外見（むき出しのコンクリート）からは想像もつかない、オシャレな部屋である。この日の交流会では、私は映画の話しかしていなかったと思う。

学寮交流会が終わって数日後に「現代思想読書会合宿」が日就寮有志によって企画されていたと聞く。私は研究者の端くれとして、「現代思想」のことは専門の一つとしている。行きたいものだと思った。他の寮と比較してみても、文化的な関心をもつ人が多い印象を受けた。学部生とは思えない博識や知見を持っている人もいて驚かされた。

さて、その一年後、「全国学寮交流会」が日就寮で開催されると聞いたときには、「あの時の「仲間」に会える！」と興奮した。行かない選択肢はない。私は日就寮で「学寮」の魅力に目覚めてしまったようである。

新一年生の寮生たちとほとんど話せなかったのは今思うと痛恨事である。面白そうな人たちばかりだったのだが、私の持っている生来の人見知り顔が顔をだしてしまった。とはいえ彼らの生き生きとした「自由」を感じさせる表情は印象的だったので覚えている。日就寮には、「文化部」のノリを感じる。日本でも数少ない「院生自治寮」に住んでいた私にとってそのような「文化部」のノリは心地の良いものであった。部室がそのまま居住空間と隣接しているといえば分かりやすいだろうか。従って寮生活とは継続される「修学旅行」でもある。文化的関心を持つ人に会うことのみを目的とするならば日就寮でなくてもいいだろう。ここでしか味わえない魅力は、そうした学生たちがそこで生活していることによって醸しだされている、いわば〈文化的空間〉にあるのかもしれない。

日就寮には二回しか行っていないが、故郷の一つのように感じられる。

留学生と日就寮

T (工学部1年生)

こんにちは、私は留学生で、時折日就寮に遊びに行く中国からの留学生Tです。AO入試の前Twitterをやっているときに日就寮のアカウントを見つけました。以前から自治寮という存在自体に興味があり、合格の朗報を受けたときから日就寮に入寮しようと考えました。しかし、大学当局から留学生は学寮に入寮できないと聞かされました。その根拠は未だに分かっていませんが、仕方なく現在は八木山で一人暮らしをしています。

今の住まいを選んだ理由の一つは、日就寮に近くて、気軽に遊びに行けるということです。寮生でなくても、日就寮は過ごしやすい場所です。いつに行っても面白いことができます。その理由は、イベントを熱心に開催している寮生もおおくいますし、また、異なる趣味や考え方を持つ人々がいるため、常に熱い議論ができます。それゆえ、寮は多様性に富んで、楽しい場所となっています。その居心地良さの原因はまさに自治そのものだと私は考えています。日就寮の自由と多様性は、誰かからいただいたものではなく、寮生たちの不断な努力によってようやく手に入ったものです。その努力があるからこそ、私は日就寮でご飯を食べることが好き、卓球をやるのが好き、本を読むのが好きです。これからも日就に遊びに行きます。

すこし変わったご近所さんとして

CHI (理学部2年)

近所からよく日就寮に遊びに来ている学生です。一年生の夏ごろに寮生と知り合って仲良くなり、そのつながりで通うようになりました。今は、寮内の生物友達と一緒に生物の飼育をさせてもらいながら、他のことでも仲良くさせてもらっています(寮に来れば私と友人が管理する玄関先の水槽を見ることができのかもしれない)。アパート暮らしではなかなかできないことに手を出せるのでありがたいです。私は、自治寮という空間の最大の価値は、そこに親密なコミュニティが形成されることだと考えています。私自身もそうですが、大学に地元の友人がいなくて、新しい人間関係を作るのに苦労する人もいます。誰かと親しくなるためには、一定のコミュニケーション量が必要です。常に周りの人がいる寮の環境は、その点において強みであることは間違いないといえます。

こんなことを書いてると、どうしてあなたは寮に入らないんだと思う方もいるかもしれません。実は寮生にも言われたりするんですが(笑)、私は、自治寮という空間が誰にでも開けているということも、一つ重要な点だと思っています。様々な背景を持って大学に来ている学生が、そこに住む人の同意さえ取れば柔軟に出入りできて、誰の居場所にもなれるというのも自治寮ならではの特徴で、他ではなかなか替えが効きません。そういう意味で、私のような関わり方も自治寮の機能として全然ありなんじゃないですかね！皆さんも是非、まずは日就寮に遊びに来てみてください。心地よい空間が待っていると思います。

第3のマイホーム

W・K (筑波大学人文学類4年)

私が日就寮にはじめて訪れたのは、去年の夏頃でした。友人が開催する詰め込み勉強合宿の開催地ということで、朝から晩までポストモダン思想家の本を読みふけり、深夜までアツイ議論を交わしたことは記憶に新しい。腹が減っては戦が云々というのではないですが、アツイ議論には温かいご飯の支えが必要です。寮長のつくるご飯は最高で、特にガパオライスが逸品、今でも夢に見ます。

学外の合宿参加者の中で最も長くその地に滞在したということもあり、日就寮は第3のマイホームと、僭越ながら思っています。その後もう一度お世話になった際にも、寮生の方々は温かく私を迎えてくれました。ビバ日就！アツイ寮生たちに栄えあれ！

日就寮の自治について

委員会

日就寮では、委員会が中心になって寮運営を行います。

委員会は週1回程度集まって会議を行います。会議は委員会でない寮生も参加可能で、話し合われたことの議事録やまとめも寮全体に共有されます。

委員会は年2期制で交代し、1期中で2回寮生総会を開催します。

寮生総会は寮生全員に出席の義務があります(全員が参加できる日程になるよう事前に調整します)。寮の活動について全員で一致が取れるまで議論し、決定する場です。

寮生総会

期のはじめに方針寮生総会、おわりに総括寮生総会があります。

委員会が議案書を提出し、それをもとに期の活動方針を決めたり、次期以降に活かせるよう取り組んできたことの振り返りをします。

議案書の論点整理の精度や普段の寮生とのコミュニケーションによって、総会にかかる時間の長さや、中身ある良い議論ができるかどうかは全く違ってきます。卒寮生曰く、委員会の経験が就職してからとんでもなく役に立つそうです。(ここ、委員会でやったやつだ！)

議題は以下のようなものがあります。

入寮募集：皆さんがいま読んでいるパンフレットの作成、配布活動の日程確認など。

会計報告：寮費の収支報告や金額の改定など。

行事：副委員長が企画する行事について。行事は寮内の交流を深めたり、外部との繋がりをつくる重要な役割を持ちます。

広報：SNS運用や日就寮WEBサイトの更新など、寮の姿を発信する方法について検討します。日就寮の魅力は住まないと伝わりづらいものばかりなので、工夫が求められます。

大学当局関係：大学当局が出している文書へ意見を出したりします。日就寮WEBサイトには最近提出した要求書や質問状、それへの回答などを載せています。寮の「老朽化」に関する質問状のやり取りなどは重要なので、ぜひ読んでみてください。

設備：壊れたり古くなったりした設備について優先度など検討し、大学当局に修繕を依頼します。

委員長選挙：総括寮生総会の閉会后に、次の委員長の選挙を行います。総会おわりの眠たい空気を吹き飛ばすアツい立候補声明があると次期に期待できます。

最後には委員長が「日就寮寮歌！1番、2番、3番！eins, twei, drei！」と音頭を取り、みんなで寮歌を歌って締めます。その後3割ぐらいの寮生は半田屋や山岡家に向かいます。

寮内の仕事について

寮の管理・運営を学生が行うため、全寮生は以下の3つの仕事をする必要があります。

①風呂当番

日就寮の浴場は、寮の隣にある霽風寮・以文寮と共有しています。この風呂掃除とボイラー運転の当番は日就寮・霽風寮・以文寮が1ヶ月毎に交代しています。日就寮は3・6・9・12月が担当で、寮生それぞれが月に2回ほど担当することになります。

②掃除当番

キッチンとトイレの掃除当番がおよそ2週間に1回回ってきます。清掃場所は持ち回りです。

① 前期試験でのパンフレット配布

前期試験の際に寮生みんなで受験生に入寮パンフレットを配ります。寒くて大変ですが、みんなでやると結構楽しいです。

女子学生の方、外国籍/留学生の方、そして日本人男子学生の方へ

○はじめに一日就寮だけがやっている自主募集

皆さんがいま読んでいるこのパンフレットは、日就寮に住む寮生自身の手によって作られています。受験会場で皆さんに直接配布をしているのも寮生です。皆さんからの入寮希望書類を受け取るのも、それを読み選考するのも寮生がやっています。

2000年代中頃ぐらいまでは、東北大学の寮はどの寮もこのような自主募集を行っていましたが、現在では他の寮の寮生は大学当局が募集選考しています。私たちが一貫して自主募集を続けているのは、「入退寮選考権」というものが学生の権利を守るために欠かせないものであると考えているからです。

○なんのため？入退寮選考権

日就寮は『学問の自由』『機会均等を守ること』を理念の一つとする厚生施設・学生自治寮です。換言すると、寮を必要とする学生が安心して生活できるようにすることを、自分たちの手で運営することによって保障する場所です。入退寮選考権はこれを守るために非常に重要な役割を果たします。

・入寮

寮生が選考を行うことによって、経済要件などの画一的な基準によって弾かれてしまうようなことを防ぐ柔軟な対応ができます。例えば、家族には十分な収入があるにもかかわらず、経済的ネグレクトによって学費や生活費の支払いを拒否されたり、奨学金の保証人を引き受けてもらえない人などもあります。様々な事情から寮を必要とする人々を受け入れられるようにすることは寮としての責務だと考えています。

また応募についても締め切りなどを定めていないので、大学当局が募集する他の寮の応募期限が過ぎていたり、学期途中で緊急の必要が出た場合でも対応可能です。

・退寮

これは不当な理由で退寮させないという意味合いが大きいです。『東北大学学寮管理運営規定』という大学当局が定めたルールがあるのですが、その中では

第 10 条の在寮年限(学部学生にあつては修業年限、大学院学生にあつては標準修業年限の範囲内とする)を超えたとき / 寄宿料又は第 16 条に定める経費を 3 月以上滞納したとき などには「速やかに退寮しなければならない。」

その他学寮における共同生活に著しく支障を来す行為があつたとき / 6 月を超える休学又は留学等に該当するとき などには「管理運営責任者は、学生生活支援審議会の議を経て退寮を命ずることができる。」

と書かれています。

誰しも緊急でお金がなくなることはありえますし、そんな時にこそ学生寮が必要です。

留年、休学、留学はどれも学生の権利¹です。特に留年については人ごとに様々な背景があるものであり、家族からの支援も難しくなることもままあります。

「規定」が適用された例として、2014 年 7 月においては、明善寮内で生じた飲酒問題を名目に、飲酒をしていない者も含めた全寮生を 2 か月後の 9 月末までに強制退寮させる通知を出すなど、寮生の生活を無視した強硬的な判断が行われる事がありました。当時の明善寮委員会は、入寮したばかりの 1 年生だけでも寮に残すよう交渉していましたが、聞き入れられませんでした。

例えば「規定」の標準修業年限などについて、厳密に学寮に住む一人一人をチェックして留年している場合には退去させるというようなことは、行われてはいないと思います。しかし規定が存在するという事は、大学当局は恣意的な判断によって先の例のような決定を行ってくる可能性があるということに他なりません。

私たちはこの「規定」は不当なものであり、私たちの入退寮選考権を侵害するものとして歴史上受け入れていません。

そして入退寮選考権を保持し、自主募集を貫くことによって入寮者の生活を守っています。

○「入寮資格」

さて日就寮はこれまで、学生のための福利厚生施設として、経済的理由を中心に様々な困難を抱えた数多くの「日本人男子」学生の受け皿となってきました。日就寮があったから大学に通うことができたと話す卒業生も多くいます。しかしその裏には、入寮希望を受けながら受け入れることができなかつた多くの女子学生や外国籍/留学生の方々がいました。

¹ 京都大学学生総合支援機構の留年についての WEB ページがよいことを言っている

日就寮では 1 年に 4 回、寮生総会が開かれる。なんと、昔は夕方 6 時～朝 9 時の計 15 時間かかった回があつたらしい。

このパンフレットを受け取ってくださった女子学生の方や外国籍/留学生の方、またその中でも特に学生寮を必要とする方、日就寮に入寮を希望してくださる方には申し訳ないのですが、今でもまだ日就寮では入寮を受け入れることが難しい状況です。

○入寮の難しさ

大学当局が日本人男子学生以外の入寮を認めないということが最大の障壁です。認めないということ自体、日就寮の持つ入退寮選考権を侵害する不当なことですが、入寮した場合「不法入寮²となる」とまで記述しています。

大学当局がここまでの記述をするのは、2013年度における日就寮の「オールジェンダー化宣言」³を受けてのことです。私たちはあらゆるジェンダーの学生を受け入れるために必要なことを考え、既に男女混住を実現している全国の大学の学生寮から学び、卒寮生からのカンパによってユニットバスを設置するなど設備面でも準備を進めていきました。実際に複数の女子学生から応募も受けましたが、私たちの力不足により大学当局に認めさせることができず、彼女らの入寮を実現させることができませんでした。その後も現在に至るまで、女子学生の方から何度も入寮希望を受ける機会がありました。

また、留学生は日本人学生と比べて住居を確保するのが非常に難しいにもかかわらず、東北大学は留学生のための寄宿舎の整備が不十分であり、毎年何人もの生活の困難を抱える留学生が「入寮させてほしい」と寮に相談しに来ています。日就寮は過去に留学生を入寮させたことがありましたが、研究室の教授などを介して大学当局からの圧力があり、当人は退寮するという決断をせざるを得ませんでした。

○これからについて

読者の皆さんの中には「女子学生に対しては女子寮である如春寮が用意されているのではないか。」と思われる方もおられるかもしれません。しかし、先に説明したような「入退寮選考権」を中心とした学問の自由の保障は女子学生に対しても同様に必要なものに違いありません。

また、この文章では一貫して「女子」学生という形で呼びかけを行ってきましたが、この世界にはどち

² 東北大学 WEB サイトの学寮に関するページには以下の文言が掲載されている。

『日就寮の入寮資格に関するお知らせ

本学の学寮である日就寮においては、その入寮募集対象を「東北大学またはそれに準ずる身分を有する者(学部・大学院、性別、国籍等不問)」として、東北大学の正規・非正規、男女、留学生等の区別なく入寮資格があるかのように入寮希望者を募っていますが、本学が定める日就寮の入寮資格は「学部・大学院の男子学生(留学生を除く。)」ですので、入寮希望者は誤って応募しないよう願います。

なお、入寮資格を有しない方が応募しても入寮は許可されませんし、許可なく入寮した場合は、不法入寮となりますので、ご注意ください。』

³ <https://wan.or.jp/article/show/2194#gsc.tab=0> 日就寮が過去に出した呼びかけです。

時折、寮に OP たちが遊びに来てくれ、共用の物品をふらっと買ってくれることがある。卒寮後も関わってくれる OP に感謝

らの性にも属さない学生がいます。あるいは、専ら社会的な理由から「女子」寮に入寮できない女子学生がいます。同様に「男子」寮に入寮できない男子学生もこの世界には確実に存在しています。現状の東北大学当局はそうした学生に対して福利厚生施設たる寮を開くことを拒んでいます。彼ら/彼女らに対しても福利厚生が必要であることは言を俟ちません。我々の「オールジェンダー化宣言」(2013年)は文字通り全てのジェンダーを持つ学生のための宣言です。

日就寮は「全ての学生の就学の権利を保障する」ことを理念の一つとしています。それは性別や国籍に拠らない全ての学生に対してです。

目の前に困難を抱える学生がおり、寮の部屋も空いているのに、受け入れていけない理由はないはずです。全国には、部屋のキャパシティを超えてでも寮を必要とする人を受け入れている自治寮もあるぐらいです。

私たちは掲げる理念の実現のために要求をしていきます。

自治寮が学生にもたらす自由

●経済的自由

日就寮は東北大学のあらゆる学生に学問の自由・教育の機会均等を保障するための厚生施設です。その「厚生」というものの中身の一つは安く住めることですが、そのことが大学生にとって持つ大きな意味についてお話しします。

日就寮に住むと寮費の安さとゼロに近い初期費用、様々な物品の共用などによって生活にかかるコストを大きく下げられます。それは単純に一人暮らしに比べて何万円浮くというような金額の問題に収まらない大きな意味を持つこととなります。

大学の学費が昔と比較してはるかに高騰していることはよく知られています。大学生は生活コストの他に、年間535,800円(学部生・院生)の学費の支払いを背負っており、そしてこのことは様々な側面から学生の自由を阻害しています。

最も身近な例は、多くの学生はアルバイトにあまりにも多くの時間を割かざるをえないということです。学業や活動から学生を遠ざけるばかりか、無理な労働によって体を壊し、また精神を病んでしまう人も多くいます。

奨学金も大きな問題です。連帯保証人を必要とする貸与型奨学金は本人だけでなく家族にも重圧としてのしかかり、学生の進学や卒業後の進路を大きく限定させるばかりか、返済に追われてその後の生活が立ち行かなくなる事例すらあります。

また、そもそも生活費に加えて年間50万円超の学費というのは日々の学問研究に打ち込む学生が個人で賄うことは非常に困難な金額であり、基本的に家族の協力が不可欠なものです。これにより家族から学生への抑圧が発生する原因となります。進路への口出しにとどまらず、言うことをきかないならば学費を出さないという形で経済的ネグレクトがなされる事例も珍しいものではありません。近年盛んに言

及される「毒親」「親ガチャ」という言葉も、このような社会状況を反映したものと言えるでしょう。大学に行くこと自体「子どもへの教育」という投資商品としての意味合いも強化され、カリキュラムや学内政策がより管理強化されたものへとになっていき、学問の府としての大学の在り方自体が歪んでしまう原因にもなります。

学費の免除や給付型奨学金という制度もありますが、先のように経済的ネグレクトを受ける学生が要件を満たせなかったり、一定以上の成績が要求されるなど十全な制度とはいえません。

(学費の設定をはじめとした学生の人生を「保護者」と紐づけて身動きを取りづらくする文教政策は、学生運動が激しく起こった時代への「反省」という一面もあります。)

これらのことから、大学生である間に安価な学生寮で生活することは、在学中の可処分時間を大きく増やすだけでなく、人生の選択肢にまで大きく自由をもたらします。

そして”自治”寮に住むということは、受け継がれてきた理念や精神に触れ、未来の学生のためにも寮を残していくことを考えることでもあります。「自分がいる間は安く住めて助かった」で終わらせてはいけない価値と役割が、自治寮という場所にはあります。

●空間に対する自己決定の自由

日就寮では自分の寮に関する様々なことを、居住する当事者である寮生の議論によって決定し、寮生の手で運営しています。その範囲は居室や集会室の使用法、喫煙のルールといった空間の使い方から、寮内の新歓や定期的なイベントの運営、また入寮募集活動などの寮を残していくための活動の方針策定まで多岐にわたります。

壁に残る歴代の寮生たちの落書きは、自治による自由を象徴し、最も雄弁に語るものかもしれません。このような自分達が裁量を持てる空間というものは、後にも先にも決して多くはありません。実際に住んで、遊びに来て、この自由な空間がもつ豊かさを肌で感じてほしいです。また、この空間は自分の手で更にどこまでもよくしていけます。自治寮はみなさん次第で面白くなる場所です。

Q&A

1. 寮生の学部はどこが多いですか？

最近だと文学部や専門職大学院に通っている寮生が多いです。

2. 個室ですか？

東北大学の学寮説明のページでは、2人部屋となっていますが、寮生数が少ないこともあり現在は個室で利用しています。

3. 勉強に集中できますか？

筆者自身は、問題なく現在進行形で集中できています。おそらく、寮の仕事や騒音への懸念だと思えますが、寮生がしなければいけないのは①寮生総会への出席②風呂掃除③共用部の掃除の3つだけであり、騒音もイベントの日を除いてほとんどありません。ただし、委員会に入ると仕事は増えます（義務ではありませんが、やりがいはありますよ！）。

4. 寮の仕事は忙しいですか？

①風呂掃除、②掃除当番、③入試でのパンフ配布、以上3点のみであり、一人暮らしで家事・掃除等に取りられる時間より少ないと思います。

5. どんな人に向いていますか？

他の寮より安く、自由度が高い寮だと思うので、万人に向いていると思います。ちなみに筆者自身は、固定費を下げて勉強に集中するために入寮しました。

7. 寮は綺麗ですか

こればかりは受け取る側の個人差が大いにあると思うので、ぜひ見学に来てご自身の目で確かめてください。掃除当番の仕組みもあるので、比較的綺麗な状態に保たれていると思います。

8. どんな趣味を持つ人がいますか

筋トレ、音楽、旅行、将棋、ゲーム等々の月並みのものからエスニック料理等のマイナーなところまで守備範囲です。好奇心旺盛の寮生が多いので、ぜひあなたの趣味を持ち込んでください。多くの寮生が興味を示すと思います。

12 建物が古いようですが、安全ですか？

寮の公式サイトにも記載されていますが、日就寮は耐震基準を満たしています。昨年の大地震でも本棚が少し倒れたことを除けばほとんど被害はありませんでした。アスベストも検査済みです。

13. 寮内交流が盛んとのことですが、そういうのが苦手な人でも生きていきますか

筆者自身も同系統の人間ですが、全く支障ないです。久々に寮内交流の場に参加しても歓迎されますし、気が向いたときだけ気軽に参加できる環境があると実感しています。

15. 他の寮やユニバーシティ・ハウスとの併願はできますか？

はい。日就寮はユニバーシティ・ハウスと併願できる唯一の寮です。他寮の選考に漏れた場合のみ日就寮を考えている人でも応募することができます。また、必要書類を日就寮に送ったけど気が変わった等でも入寮をキャンセルしてもらって構いません。入寮に大学を仲介していないので、その辺りはかなり柔軟です。

入寮と手続きについて

入寮手続き

① 希望書の提出

まずは、日就寮 HP の「入寮案内」または右の QR コードから希望書を Google Form で提出してください。提出された方にはこちらから追って連絡させていただきます。



② 見学

日就寮への入寮を検討している方には、実際の雰囲気などを確認してもらうためにできる限り事前に見学したり遊びにきたりすることを推奨しています。もちろん、見学せずに入寮することも可能ですが、今の寮生のほとんどは事前に見学しています。詳しくは、HP の「見学案内」をチェック！！

③ 入寮届と保証書の提出

入寮を決めたらできるだけ早くに入寮届(HP からダウンロード)と保証書を寮に郵送してください。(※印刷できない場合はその旨を寮の方に伝えていただければこちらから郵送します。)宛名は「日就寮委員会」とし、表面に「入寮届在中」と朱書きして下さい。

郵送先:〒982-0832 宮城県仙台市太白区八木山緑町 16-3 東北大学日就寮

④ 入寮選考

入寮届が届いたら入寮選考を行います。現在は部屋数に余裕があるため入寮をお断りすることは原則としてありません。新入寮生の応募が受け入れ最大能力を上回った場合は面接を行います。面接で入寮選考を行うのは、一律に経済的条件で入退寮を決定するのではなく、給付型奨学金などを受け取ることのできない学生であっても福利厚生施設が必要とされることもあるという考えからです。

※提出していただいた入寮届は入寮選考委員と大学職員の方以外が見ることはありません。

⑤引越し

引越しの日程が決まったら早めに連絡して下さい。引越し当日は寮生が手伝います。新生活についての質問は、メール・TwitterのDM・電話のいずれでも受け付けます。

⑥入寮オリエンテーション

新学期に入寮される方については入寮オリエンテーションを行います。入寮の許可と同時に実施予定日を通知します。必ず出席していただきたいので、もし日程の都合がつかない場合は早めに連絡していただければ再調整など何らかの対応を行います。

入寮の際の持ち物

寮には共有の家電や卒寮生が残っていた物品が多数(日就寮の良さ～生活費編～を参照)ありますが、以下の物は持参して下さい。

○必須

内履き・布団・お風呂セット

○推奨

暖房器具・ハンガー・洗濯かご（以前の住人の物品が使える場合も多いです）

東北大学日就寮

電話: 022-229-1858

メール: nisshuryo@gmail.com

住所: 〒982-0832 宮城県仙台市太白区八木山緑町 16-3

Twitter: @nsr_dom

公式サイト: <https://nisshuryo.fc2.page/>

日就寮の歴史とその先へ…

日就寮は旧制千代高等工業学校（SKK）の1年生向けの寮として、1909年（明治42年）に現在の片平キャンパス内に建造されました。1936年（昭和11年）に収容人数をより多くするために八木山にある現在地に移転しました。しかし、この寮は1940年に焼失。戦後の1945年（昭和20年）に新たに建て直されます。当時の寮は戦後の欠乏と困窮のなかで建てられたためか非常に劣悪な環境だったようで、新寮の建設が切に望まれていました。

大学当局への診療建設の要求が通り、ついに1971年に青葉区北山にあった宏富寮と合併して現在の寮が建設されます。鉄筋4階建てで広い食堂や大きな風呂場がついている現在の寮は、100人規模の寮としては当時建造されたほかの寮と比較しても非常に立派なものでした。大学運営における「受益者負担の原則」の適用や経営の合理化の中で、利益を生まない学生寮の維持は年々厳しくなり、食堂やセントラルヒーティングは廃止されてしまいました。しかし、700円という破格の寄宿料をはじめ、寮委員会による入退寮選考などを維持している全国でも希少な学生自治寮となっています。

115年目に突入した日就寮の歴史の新たな1ページを皆さんと一緒に歩めることを楽しみにしています。

日就寮委員会



↑ 1960年ごろの日就寮
現在の日就寮 ↓



みんなで食卓を囲む日々



つねに議論しながら寮を運営してきました



戦前から続く行事：逍遙
海からの十数キロを歩きます



自治と共同
日就寮

こちら

冬の日就寮



年4回の寮生総会



夏の風物詩：JET流しそうめん



図書室にはたくさんの本と資料が



秋の風物詩：駐車場の柿の収穫



卒寮生を交えた交流会



年2回のクラブイベント



伝統行事：月夜の散歩